

## 第三回「阿波しらさぎ文学賞」開催

徳島文学協会と徳島新聞社が主催する「阿波しらさぎ文学賞」が本年も開催された。第三回となる今年は、四十一都道府県から過去最多四六五作品の応募があった。新型コロナウイルスの影響で外出を控えなければならぬ状況であったことも一因であるが、芥川賞作家の小山田浩子さんが最終選考委員に加わったことで新たな書き手が応募してくれたと考えられる。また初代受賞者の大滝瓶太さん、第二回受賞者の佐川恭一さんの受賞後の活躍も大きかったのではないかな。

昨年までと同様にジャンルは多岐にわたり、内容もバラエティに富んでいた。人間の存在を深く掘り下げる作品、抽象画を連想させる詩的な作品、物語の力で読者を牽引する作品など、応募作はどれも小説の可能性と魅力を引き出していた。そんな中でも今年は、パンドミックを体験して変化した人々の暮らしを題材にしたものや、社会の在り方が変容した近未来小説など、これまで見られなかった切り口の小説が多数含まれていた。

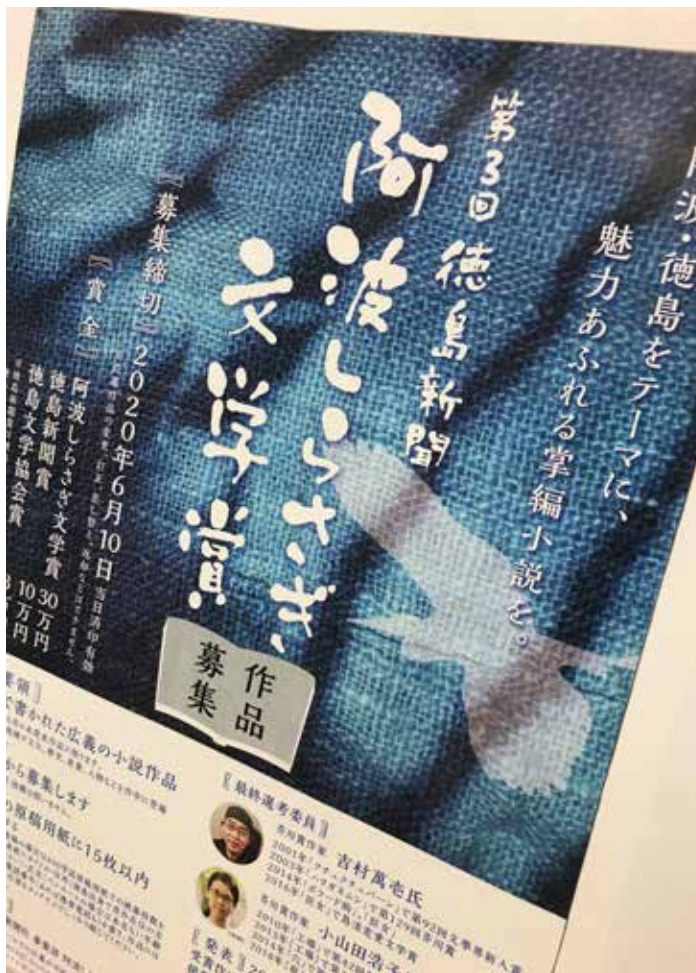
全体のレベルは過去二回より上がっている。昨年の基準で選んでしまうと一次通過が当初の規定を上回ってしまいうため不通過とした優れた作品が多数

あった。結果的に通過作は二十八作品と昨年より二作品増えた。最年少は十六歳、最年長は七十二歳。三十歳以下が十人、五十歳以上も六人おり、幅広い層から通過者が出た。今年の特徴は何といっても女性の通過者が増えたことだ。名前から察するに、昨年と比較してほぼ倍増していると思われる。

徳島県関連の書き手の応募数はやや減っていたが、クオリティは高かった。一次の通過者は九名で全体の約三十二%である。その中には徳島出身で現在は県外に暮らす優れた

書き手が複数いた。また十代、二十代の徳島の若い書き手の中に優秀な才能がいることが分かった。阿波しらさぎ文学賞が才能の発掘の場になっていることを改めて感じた。

最終選考を経て九月十二日には表彰式と記念文学トークが予定されている。記念トークには本年度「本屋大賞」受賞作家の風良ゆうさんの出演が決まっている。受賞者たちと吉村萬壺さん、小山田浩子さん、風良ゆうさんがどんな話で盛り上がるのか今から楽しみだ。



# 四国大学 「富士正晴全国高校生文学賞」 開催

二〇一〇年より三好市の富士正晴顕彰事業の一環として文芸誌甲子園がスタートし、昨年まで十回に渡って全国の高校文芸を支援、表彰してきた。徳島文学協会はこの事業に協賛し、作品選考や最終選考会の開催に携わってきた。

しかし二〇一九年度に一定の成果を得て、文芸誌甲子園が終了したことを受けて、今後さらに富士正晴の顕彰活動を発展的に継承するため、この度新たに四国大学「富士正晴全国高校生文学賞」が創設された。今年から始まるこの新たな賞においても徳島文学協会は協賛団体となり、引き続き新たな才能の発掘に力を尽くすこととなった。なお本賞の大賞受賞作は『徳島文学』第四号に転載される。



## 一、対象

高校生  
文芸部誌に掲載された個人の小説作品

## 二、応募規定

二〇一九年十月一日以降に発行された文芸部の部誌を一枚につき一冊お送りください。お送りいただく際には「応募用紙」を添付してください。応募いただいた文芸部誌は返却できません。他の文芸賞に応募した文芸部誌でも本賞に応募可能です。

## 三、審査

応募いただいた文芸部誌の中から小説作品を対象として審査し、最終選考に残った作品について四国大学にて各賞を決定します。

### 最終審査員

阿部曜子（四国大学文学部長）  
友重幸四郎（四国大学文学部日本文学教授）  
佐々木義登（四国大学文学部日本文学教授）

## 四、賞

・大賞 一点  
・優秀賞 三点  
・奨励賞 六点

※各賞の受賞者には四国大学芸術分野特別入試A区分の受験資格が与えられます。本入試を受けて四国大学に入学されますと、毎年八十万円の特別奨学金が四年間給付されます。

※大賞については、受賞者の言葉と受賞作品を徳島文学協会発行の文芸雑誌『徳島文学』に掲載します。

## 五、審査結果

二〇二一年一月に受賞者へ通知します。

## 六、応募用紙

募集要項の切り線より切り取って、必要事項を記入の上、文芸部誌の表紙の裏に糊で貼り付けてください。

## 七、募集期間

二〇二〇年九月一日～十月十日消印有効

## 八、主催

四国大学

## 九、協賛

徳島文学協会  
〒七七一-一三三〇-一  
徳島県名西郡神山町阿野字方子一〇三  
電話（〇八〇）六二八四・〇二九六

## 十、送付

四国大学文学部日本文学科  
「富士正晴全国高校生文学賞」係  
〒七七一-一一九二  
徳島県徳島市応神町古川

## 十一、応募に関するお問い合わせ

四国大学文学部日本文学科  
「富士正晴全国高校生文学賞」係  
（担当）日本文学科 佐々木義登  
〒七七一-一一九二  
徳島県徳島市応神町古川  
電話（〇八八）六六五・九五四五

## 十二、入試に関するお問い合わせ

四国大学入試課  
電話（〇八八）六六五・九九〇八

### 2019年度 徳島文学協会会計報告 (2019年4月1日～2020年3月31日)

収入総計	2,927,728円
支出総計	2,702,397円
差引残高	225,331円

みんなの文芸誌『カクヲタノシム Vol.2』

## 200文字のメッセージ募集

締切／9月10日

徳島文学協会が発行する、みんなの文芸誌『カクヲタノシム Vol.2』に会員限定で無料掲載します。こんな時代に残しておきたい一言、これからの夢や抱負、執筆活動や近況報告など自由にお書きください。

●タイトル ●お名前(ペンネーム可) ●200文字メッセージをお送りください。

宛先: society@t-bungaku.com

# 遠隔地からも参加できる！リモート講座

七月十一日はじめての『Zoomミーティング』アプリによるエッセイ実作講座を開催しました。事前にアプリをインストールしたり、IDとパスワードを取得したりと準備万端。開催時刻の夜九時三十分にはパソコンやスマートフォンなど、皆さんお使いの端末から参加を試みて下さいました。

「こんばんは」の挨拶で始まり、リモート参加経験のあるメンバーが多い中に新しい参加者もいて、参加を楽しみにして下さいました。後日担当者がサポートに伺い、次回からは入ることができるようになった。今回、取り上げるのは、滝沢壽男さん「嗜好の系譜」・うっかりさん「なにか三十七歳」・「月草との待ち合わせ」の全3作である。参加者と作者が感想を述べ、講師の講評とアドバイ스가あった。

講座の内容や講評について詳しくは、『文学イベント報告』ブログをご覧ください。

<https://ameblo.jp/t-bungaku/>



エッセイ実作講座の様子

## サポート担当者



魚井美佐さん  
(パソコン倶楽部部長)



原田英一さん

お会いできる方には、サポート担当者がお訪ねして、ご説明させていただきます。実際の講座の前にテストミーティングして、Zoom体験もできます。初心者の方も安心してお申込みください。

## Zoomサポートのご案内

リモート期間中は、参加費無料となっておりますので、この機会に県外会員の皆さまも、ぜひご参加ください。

# 『Zoomミーティング』について

ご自身がお使いの端末(パソコン、タブレット、スマートフォンなど)でテレビ会議のように映像と音声で、遠隔地の参加者と話し合いができます。

開催日当日、参加者をご登録いただいたメールに、招待URL、ミーティングID、パスワードをお送りします。

## スマートフォンまたはタブレットで参加する

初めてご利用になる場合は、Zoomアプリをインストールしてください。

アプリが開いたら、「ミーティングに参加」をタップし、ミーティングIDを入力します。

※パケット通信料が掛るので、Wi-Fi環境下での参加をお奨めします。

※インストールの仕方は動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=YjFm0cXlbs>

インストール方法を  
ご覧いただけます



## パソコンで参加する

### 参加方法①

招待URLをクリックし、『Zoomミーティング』をインストールする。

### 参加方法②

① <https://zoom.us/join> の「ミーティングに参加する」をクリック。

② ミーティングIDを入力し参加をクリック、さらにパスワードを入力。

※音声や映像を出すには「コンピュータでオーディオに参加」をクリックして下さい。

※パソコン本体にカメラや内蔵マイク、スピーカーなどの機能が付いていない場合は、別途ご用意ください。

※インストールの仕方は動画を

ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=nIX9skUBp5A>

インストール方法を  
ご覧いただけます



協会ホームページでも Zoom ミーティングの参加方法を詳しく解説しています。  
<https://www.t-bungaku.com/event.html>

# 文学イベント案内

## 小説エキスパート講座

全国公募の文学賞で最終選考程度の実力のある方やプロの作家を目指している方。また、作品を提出した上で講師からの指名があった方を中心に、本格的なスパリングを行います。

- 開催日 2020年10月24日(土) 21時～22時
- 開催方法 『Zoomミーティング』による開催
- 参加費 会員のみ対象 無料
- 講師 作家・四国大学教授 佐々木義登
- 定員 10人程度
- 締切 開催月の10日まで ※先着順

※作品提出方法

Microsoft Wordソフトで書かれた小説(400字詰め原稿用紙換算50枚から200枚程度)を事務局宛てにメール添付でお送りください。

## ブラッシュアップ小説講座

既に小説作品を複数書かれている方が更なるステップアップをするための小説実作講座です。レベルとしては地方文学賞で入賞以上を目指す中級程度の内容となります。参加者の作品を組上に載せて参加者全員で批評会を行います。またプロの作品を取り上げ勉強会の場とします。

- 開催日 ①2020年9月26日(土)  
②2020年11月21日(土)  
毎回 21時～22時
- 開催方法 『Zoomミーティング』による開催
- 参加費 会員のみ対象 無料
- 講師 作家・四国大学教授 佐々木義登
- 定員 15人程度
- 締切 開催月の10日まで ※先着順

※作品提出方法

Microsoft Wordソフトで書かれた小説(400字詰め原稿用紙換算30枚から80枚程度)を事務局宛てにメール添付でお送りください。

詳細は徳島文学協会ホームページ  
イベント情報をご覧ください

<https://www.t-bungaku.com/event.html>

ご入会や講座のお申込み・お問合せは  
徳島文学協会事務局まで

〒771-3201 徳島県名西郡神山町阿野字方子 103  
TEL : 080-6284-0296 society@t-bungaku.com  
<https://www.t-bungaku.com/>

## 「阿波しらさぎ文学賞 受賞作を読む」

「第3回 徳島新聞 阿波しらさぎ文学賞」の受賞作を読み、皆さんで作品について話し合う読書会です。議論を通して作品の読み方を深め、作品の魅力を探求します。

- 開催日 2020年10月10日(土) 21時～22時
- 開催方法 『Zoomミーティング』による開催
- 参加費 会員のみ対象 無料
- 講師 作家・四国大学教授 佐々木義登
- 定員 15人程度
- 締切 10月5日(月) まで

## 「私のイチオシ本」

お気に入りの小説やマンガ、エッセイなどを持ち寄り、皆さんで1人1作品、持ち時間5分の間にプレゼンします。お気に入りの作品を語ることで改めてその魅力に気づくことができます。また他の参加者のプレゼンを聞くことで、知らなかった作品を手に取り、読書の幅を広げるきっかけにもなります。

- 開催日 2020年11月7日(土) 21時～22時
- 開催方法 『Zoomミーティング』による開催
- 参加費 会員のみ対象 無料
- 定員 15人程度
- 締切 11月2日(月) まで

※プレゼンされる方は、事前に紹介される本を事務局までお知らせください。

## 【通信】「小説広場」～みんなで合評会～

小説広場～みんなで合評会～が、会員限定の通信制の合評会になりました。上達への第一歩は、ある程度小説のわかる人に作品を読んでもらい、アドバイスを受けることから始まります。また他者の作品を客観的に読むことで気づくことがたくさんあります。

### 《合評作品募集》

【通信】小説広場に合評作品を提出された方には『みんなの感想』と文学賞受賞歴のあるアドバイザーによる推敲原稿を郵送させていただきます。

- 締切 毎月20日 ※先着順
- 費用 1作品2000円  
(400字詰原稿用紙10枚～50枚まで)  
※作品はワード(Microsoft Wordソフト)  
またはPDFデータでメールに添付してお送りください。

■アドバイザー 久保訓子、藤代淑子、阿部あみ

### 《作品の感想募集》

毎月20日に、合評作品をお送りします。(参加無料)  
感想をお寄せ下さった方に『みんなの感想』をお送りします。